

Now or Never

いま動かなければ、間に合わない

私たちの社会はいま、危機的状況に瀕しています。地球環境への負荷の増大、貧困、難民問題、人種差別、テロ、地域紛争など、どれをとっても一刻を争うものばかりです。過去の行動を漫然と繰り返すことは、もはや許されません。未来に向けてこの社会が存続していくために、今すぐ行動しなければ間に合わない。私は強い危機感を感じています。

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」

これはFRグループのステートメントです。私たちは服の商売を通じて、社会をより良い方向に変えるために事業をしています。これは単なるお題目ではなく、私たちが本気で目指していることです。利益を上げることは、この目標を実現し、拡大していくために不可欠です。しかし、それ自体が目的ではありません。

ますます深刻な状況に陥りつつある地球環境、そして現実の生活の中で困難な状況に陥っている世界各地の人たちに自らの事業を通じて何ができるのか。何をすべきなのか。私たちはそのことを日々、真剣に考え、すぐにできるものから行動に移します。

世界で最も困っている人たちのために

難民問題はいま世界で最も大きな危機の一つです。さまざまな要因で故郷を追われ、異境に生存の場を求めざるを得ない人たちが世界各地にあふれています。この状況を放置すれば、世界は憎悪の連鎖に陥り、戦争の危機につながりかねません。サステナブルな社会を実現するために、この問題を避けて通ることはできません。

私たちは2011年、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）とアジア企業初のグローバルパートナーシップを締結、その一環として2016年から3年間で総額1,000万ドルの支援を決定しました。その一部を難民の自立支援活動に活用し、たとえばマレーシアでは識字教育や手工芸品の技術継承などのプログラムを実施しています。また日本国内ではユニクロの店舗で就業体験の

場を提供し、仕事のスキルを身につけることで自立を支援するプログラムを行っています。期間終了後、希望者を当社スタッフとして積極的に雇用することで、社会で活躍する道をさらに広げていきます。

難民への衣料支援にも力を入れています。2006年、ユニクロの全商品を対象にリサイクル・リユースを開始。現在、世界16の国と地域のユニクロおよびジーユー全店舗で回収を実施し、UNHCRとの緊密な連携の下、世界各地の難民に届ける活動を継続しています。2015年に始めた「1,000万着のHELP」プロジェクトでは、目標の1,000万着を大きく上回る1,281万着の回収を達成、2006年からの累計回収枚数は5,433万着に達し、うち2,033万着以上を世界の難民キャンプなどに届けました。この取り組みを今後、一層強化します。

働く人たちの権利を守り、成長の機会を

工場で働く人たちの権利を保護し、個人として成長する機会を創り出すことは非常に重要です。働く人たちの収入が伸び、消費や教育に回せるお金が増えて、その人たちが新しい消費者となって地域社会全体が成長する。グローバル化、デジタル化が進んだ現代社会においては、誰か一人だけが勝者になることはありません。誰もが共存共栄できる社会を創り出すことが、持続可能な社会を実現するカギです。

そのような観点から、FRグループは「生産パートナー向けのコードオブコンダクト（CoC）」を重視し、働く人たちの権利保護に努めています。また工場で働く人たちの多くが、教育機会の不足のため、衛生・栄養管理、お金の使い方などの知識が十分でなく、病気の予防や対処を誤る、将来設計の概念が乏しいといった問題を抱えています。これらの課題解決を目指し、私たちはFactory Worker Empowerment Projectを実施しています。

2015年からユニクロはバングラデシュとインドネシアの伝統的な衣装をモチーフにしたコレクションを世界各国で発売し、収益の一部を両国の取引先工場に働く労働者への教育支援に充当しました。例えばバングラデシュでは工場に働く女性たち

に栄養学や衛生・健康管理などの教育プログラムを実施、正しい知識の習得により健康状態の改善や労働意欲の向上などの成果が出ています。

環境負荷低減のために

サステナブルな世界の実現には、環境への負荷低減を重視した企業活動を従来以上に強めることが必要です。FRは2020年までに商品のライフサイクル全般にわたる危険化学物質の排出をゼロにすることを目指し、その実現に最大限の努力を傾けます。取引先の選定には、従来から法令を遵守し、国際社会の課題や地球環境に留意した行動を実践する企業を選定し、それらの企業と長期的なパートナーシップを組んで環境配慮型の経営を確立することを目指してきました。社会に害をなすような工場とは一切取引をしません。「正しき」に徹的にこだわることはサステナブルな世界を実現するために不可欠な条件です。その姿勢を堅持し、さらに徹底します。

自らが変わり、会社を変え、社会を変える

サステナブルな世界の実現という最も重要な命題に、私たちFRグループは全ての事業活動のベクトルを合わせ、その実現のために必要なあらゆる活動を行います。私たちが暮らす社会の問題を、私たち一人ひとりの社員の手で解決していく決意です。

自らが変わり、今すぐ行動を起こし、会社を変え、社会を変える。結果に対して責任を持つ。私たちFRグループはそういう集団になって、社会問題の解決に取り組み、世界をより良い方向に変えるために事業活動を行います。私はその先頭に立つことを約束します。

Tadashi Yanai

2017年1月
株式会社ファーストリテイリング
代表取締役会長兼社長
柳井 正

“

ますます深刻な状況に陥りつつある地球環境、そして現実の生活の中で困難な状況に陥っている世界各地の人たちに自らの事業を通じて何ができるのか。何をすべきなのか。私たちはそのことを日々、真剣に考え、すぐにできるものから行動に移します”

株式会社ファーストリテイリング
代表取締役会長兼社長
柳井 正

